



しおかぜ



本山認定教区研修会

11月6日、塩竈道院専有道場を会場に『本山認定宮城県教区講習会』を開催しま

10月16日、塩釜ガス体育館を会場に開催されます。あと、開催まで2週間余り、この大会出場を機にレベルアップを図りましょう。

今月16日少林寺拳法宮城県大会



2022.09.23 宮城教区研修会(塩竈道院専有道場)

大澤隆管長 縁起

達磨祭と少林寺拳法創始の日

10月、年度ではいよいよ下半期に入りまし



す。当日は、本山派遣講師による「法階」講義や技術指導そして各階級の講義も予定しております。
今後の特別昇格考試験(4段以上)受験の際は、必要不可欠な講習会です。今回、懇親会の開催はありませんが、多数の参加をお願い致します。

た。今月は、祖師達磨大師の命日とされる5日頃に、本山、各教区、全国の道院において、達磨祭(法要)が行われます。また25日は少林寺拳法創始の日となっています。
開祖は、世の中に役立つ人を一人でも多く育てようと、少林寺拳法を創始され、組織化していきました。少林寺拳法は、自己を抛り所として、「半ばは自己の幸せを半ばは他人の幸せを」を考えて行動できる人をつくるために、開祖は先達として仰がれた達磨大師が遺された易筋行を修行の中心とし、人づくりの手段としたのです。
達磨大師と言えば、不撓不屈、七転び八起き、の精神、起き上がり小法師のように何度倒れても立ち上がることで知られていま



2022.09.23 研修会の一コマ(塩竈道院専有道場)

す。私たちが易筋行で行っているのは、一見不利に見える状況であっても、本来持っている力を引き出し、モノの見方や立ち位置を変え、有効に力を発揮することで、状況を変えていくことです。その積み重ねが、どんなことも乗り越えていく自信を築き上げてくれます。目の前に不安なことや挫折そう

今後の予定

- ◎ 10月16日(日) 9:00~15:00 宮城県大会(塩釜ガス体育館)
- ◎ 10月28日(金) 19:00~21:00 塩竈教区 僧階取得のための勉強会(塩竈道院専有道場)
- ◎ 10月30日(日) 9:30~16:00 宮城県連盟昇格考試・宮城武専(青葉体育館)
- ◎ 11月 6日(日) 9:00~16:00 本山認定宮城県教区研修会(塩竈道院専有道場)



2022.09.29 宮城県大会に向けて(塩竈道院)

なことがあつた場合、悩んでいるだけでは何一つ解決しません。どんな状況も常に変化しており、それが一生続くこともありません。私たち門信徒は、そこであきらめずに進めば暗闇を抜け出せるということを行行の中で学んでいます。

その修行は決して道場の中だけのものでもなく、苦しいものでもありません。むしろ家庭や仕事、日常の人間関係にも役立ち、人としての生きる力を高めてくれるので、修行自体が楽しく継続できるものになってい

ます。仲間と共に楽しみながら護身練胆、健康増進、精神修養の三徳を得ることができ、自分の成長に役立つだけでなく、周囲に喜びを与え、社会を元気にする力を持つ素晴らしいものです。

今月は私たちが少林寺拳法と出会えたことに感謝の念を持つとともに、達磨大師の遺された修行法に一層精進することを約束する誓いの月として、共に金剛禅運動を展開していきましょう。

中国古典 紹介

「君子は義に喩り、小人は利に喩る」を掲

載

『論語』

君子はまつ先に議を考える、小人はまつ先に利を考える、という意味である。「義」とは、わかりやすく言えば、道理になつていること、「利」とは、利益である。

君子たることのむずかしさはこういう点にもあるのだが、しかし、孔子もまつたく「利」を口にしなかつたわけではないらしい。やはり『論語』に、こうある。

「子、まれに利を言う。命とともにし仁とともにす」

孔子はめつたに利を口にしなかつたが、どうしてもという場合には、命と仁とをあわ

せて説くのが常だった、というのだ。

また孔子は、「完成された人間とは？」と問われて、「目の前に利益がぶら下がついても義を踏みはずさない」ことを、その一つの条件にあげている。ウエートはあくまでも義にあることは明らかだ。だが、利益を追求するにしても、公正なルールを守つてやれば、孔子の言うことに近づくのかもしれない。



2022.10.01 一般拳士の稽古で(塩竈道院)